

医師国家試験対策委員会活動報告

医師国家試験対策委員長 5年次 塩田和誉

青葉若葉のみぎり、同窓会の先輩方、在校生の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は医学科5年次 医師国家試験対策委員長の塩田和誉です。現在の活動状況などをご報告したいと思います。

今年度の国対委員は総勢44名の有志で取り組んでおります。他大学の国対委員は多くても10名程度であることから考えても、国試を控えた先輩方のために自ら進んで多数の方が国対の仕事を引き受けてくれていることは琉大医学部の良き伝統だと思っています。

個別の活動についてですが、まず、同窓会からは今年度も第1回MEC模試に対して受験料の援助をして頂き、本当にありがとうございました。7月10、11日に受験日を設定し、6年生及び既卒生に受験の呼びかけをしており、6月1日現在で、在校生91名、既卒生5名の合計96名の申込数となっております。受験日までまだ日がありますので、同窓会のご好意にお応えするためにも対象者全員受験を目指し、準備に当たっていききたいと思います。

他の活動についてですが、毎年6月に沖縄で開催される九州ブロック会の準備を行っています。この会は九州、沖縄の10大学から構成されており、各大学で情報を共有し合い、良い点は参考にさせてもらいながら、交流を深めています。このブロック会を通して得られたメリットをいくつか紹介すると、一つは学習スペースが拡充されたことが挙げられます。琉球大学の学習スペースを調べ、これを他大学と比較した結果、琉大の学習スペースは少ないことが判明しました。この点を大学側に訴えたところ、今年度からがじゅまる会館に学習室を設けてもらえることとなりました。また、今の6年生にとっては最大の関心事であるマッチングですが、各大学でマッチングアンケートを行い、その情報を共有することで、より多くの病院のマッチングに関する情報が得られるようになりました。これらはほんの一例に過ぎませんが、これからも他大学と連携

を取り合いながら、学習環境の向上を目指していきます。

さらに、九州ブロック会が終わりますと、2月の国試期間中に行うホテル合宿や模擬試験の案内、各種講演会の準備、4年次への国対委員勧誘などを行う予定となっております。

先輩方の努力の甲斐あって、第104回の医師国家試験は前回よりも順位が上がりました。第105回も全員合格を目標にサポートしていく決意です。

私が今回国対委員長をやろうと思った動機は、人脈を広げたかったからです。私は学士編入学制度で3年次に編入し、またどの部活にも入っていないため、上下の学年はもちろんのこと、同級生の横のつながりもまだまだ作れていませんでした。医師としてのこれからの人生を考える時、幅広い人脈を持っていることがどれほど心強いことでしょうか。今回国対委員長をさせてもらったことで、6年生や同級生、また九州の各大学の人たちとも交流をもつことができ、嬉しく思っています。秋には4年生にも国対の活動に参加してもらおうと思っていますので4年生の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

最後に私の好きな哲学者の箴言を紹介して、国対委員の活動報告とさせていただきます。

「労苦と使命の中にのみ 人生の価値(たから)は生まれる」

「自分だけの幸福もなければ、他人だけの不幸もない。人を幸福にした分、自分も幸福になる。」

